
平成28年度

第2回川口市青少年問題協議会

大人が変われば

子どもも変わる

平成28年11月29日（火） 午前10時

川口市役所 議会2階 第1委員会室

次 第

1 開 会

2 議 事

ページ

(1)「平成 27・28 年度川口市青少年問題協議会の報告と提案」について 1

(2)その他 6

3 閉 会

議題（１）

「平成２７・２８年度川口市青少年問題協議会の報告と提案」について

「平成２７・２８年度川口市青少年問題協議会の報告と提案」

～青年リーダーの育成と地域の関わりについて～

１ 現状と課題

- （１）背景と経緯
- （２）子どもと地域の関わり
- （３）青年リーダーの育成・確保の検討

２ 青年リーダー育成のための取り組み

- （１）取り組みの状況
- （２）地域における新たな活動の場

モデルケース 南平公民館子どもクリスマス会

３ 協議の経過と提案

[テーマ１] 青少年の中に「気づき」を生み、意識づくりに努めること

[テーマ２] 青少年にさらなる活動の場を与え、意欲と主体性を育てること

[テーマ３] 地域の大人が青少年を見守り、支え、次につなぐこと

報告と提案 「2 青年リーダー育成のための取り組み」について

(1) 取り組みの状況

- 平成28年度青年ボランティア養成講習会の状況
月1回の打合せ会議、青少年まつり内ブース運営(6/5)、デイキャンプ(7/31)、
七つの祝い内ブース運営(10/10)



- 青少年相談員の活動状況
月1回の定例会の開催、アウトドア料理研修会の実施、通学合宿事業への協力



→ 数多くの打合せ会議や事業を通して知識と経験を重ね、青少年相談員や子ども会ジュニアリーダーに、青年リーダーとして事業を開催できるスキルが身についてきた。

(2) 地域における新たな活動の場

[南平公民館子どもクリスマス会]

趣旨 南平公民館地区青少年育成協議会が毎年12月に実施しているクリスマス会を、青年ボランティア養成講習会参加者が企画運営すると同時に、地域の中学生等にもスタッフとしての参加を呼びかけ、地域と一体となって事業を実施するもの。

日 程：平成28年12月11日（日）
時 間：10時～12時
場 所：南平公民館
主 催：南平公民館地区青少年育成協議会

参加予定者：青少年相談員、ジュニアリーダー、
南平公民館地区青少年育成協議会、元郷中学校等
対 象 者：スタッフ10名程度
南平地区の小学生25名程度

青少年育成協議会インタビュー

・青少年育成協議会の活動について

子どもクリスマス会など年間4事業を実施している。公民館の主導により企画し、地域のボランティアに依頼をして開催する形となっている。

・青少年育成協議会の活性化について

活性化させるためには、育成協議会に新たな人材を入れるというより、公民館の事業の企画力次第というところになると思う。総会の前に事前に調整をすれば、事業の見直しは十分可能である。

・中高生との関わりについて

小学生と違い、中高生は町会活動を含めても、関わる機会は登下校で顔を見る程度だ。ただ、町会の盆踊りなどに来てくれればとても盛り上がるし、中高生にとってもよい思い出や経験になるはずだ。学校を通じて半強制的に参加させるぐらいでもよいと思う。中学生は災害時、地域において大切な存在になるなど、地域とのかかわりは重要であると思う。小学生の頃だけでなく、中学・高校でも長く地域に関わることで、将来の地域を引っ張っていく人材を育成することにもつながる。地域としては中高生を受け入れる体制は整っている。

・学校との関わりについて

町会として年に1回小学校に行って昔遊びを教えたり、以前は持久走大会の交通警備などもしていた。ただ中学校、高校となると現状では関わりがない。

・学校と地域のつながりについて

現在、積極的に学校との橋渡しをしてくれる主任児童委員の方がいるが、1人ではできることに限界がある。今後は地域と学校、更には市役所をつないでいくような組織を作っていく必要があるのではないかと。

中学校インタビュー

・クリスマス会のような事業の連携について

年間スケジュールとして事前に予定しておけば連携、協力することは可能だと思う。ただ、生徒を行かせる場合は学校側としても責任があり、事前に指導をして、担当教員を当日随行させて迷惑にならないようにするなど、多少の準備は必要となる。しかし、自由参加という形で生徒に声をかけて参加を促すということなら十分可能だと思う。

- ・ **学校が地域に出ることについて**

地域の方と交流することが、生徒にとってプラスになるということは十分理解しているが、学校ではそれ以前に不登校やいじめの問題などが山積しており、そこまでなかなか手が回らないところが現状である。また、地域の活動となると土日が主となると思うが、生徒の多くは部活をやっている。

- ・ **生徒会としてのボランティアについて**

ボランティア等の校外活動の依頼があった場合は、基本的に生徒会本部で受けているが、生徒会役員も様々な活動の兼ね合いから、全て受け入れることは難しい。他の委員会と協力しながらやっていくことが必要になるだろう。

- ・ **部活動としてのボランティアについて**

現時点では、ボランティアを部活動として実施することは考えづらい。それより委員会活動として実施するほうが現実的であると思う。

- ・ **学校と公民館の関わりについて**

年に1回文化祭に出るようなことはあるが、定期的な交流はほとんどない。

報告と提案 「3 協議の経過と提案」について

[テーマ1] 青少年の中に「気づき」を生み、意識づくりに努めること

提案 青年リーダーの育成のためには、学校の部活動、町会・自治会や青少年団体の活動等を通して、青少年（特に中高生）に社会参加の機会を与え、動機づけを促すことが必要ではないか。

- ・地域と学校の連携による社会参加活動の充実（地域のまつり、地場産業体験）
- ・情報発信とアプローチ方法の検討（回覧板、参加者への呼びかけ、学校行事の活用）
- ・ボランティア学習と保護者の理解

[テーマ2] 青少年にさらなる活動の場を与え、意欲と主体性を育てること

提案 様々な青少年が、良質な体験や経験を重ね、意欲や主体性を持って成長できるような活動の場を創出するためには、学校や地域、行政、青少年団体等の関わり方や、事業の実施方法を見直すことが必要ではないか。

- ・学校・PTA行事の活用
- ・体験事業の実施方法の検討（通学合宿ボランティア）
- ・多様な青少年への働きかけの検討（外国人、非行少年、困難を抱える青少年）

[テーマ3] 地域の大人が青少年を見守り、支え、次につなぐこと

提案 学校や地域、行政、青少年団体等の積極的な連携など、大人同士の関わりがよりよく変化することが、地域における青少年の健全育成や、次代を担う青年リーダーの育成にとって必要ではないか。

- ・家庭、学校、地域の連携強化（学校応援団、おやじの会、トップのあり方）
- ・あいさつは大人から（大人が変われば子どもも変わる）

議題（２） その他

- ・ 青少年を取り巻く事例紹介

- ・ 今後の会議の予定について

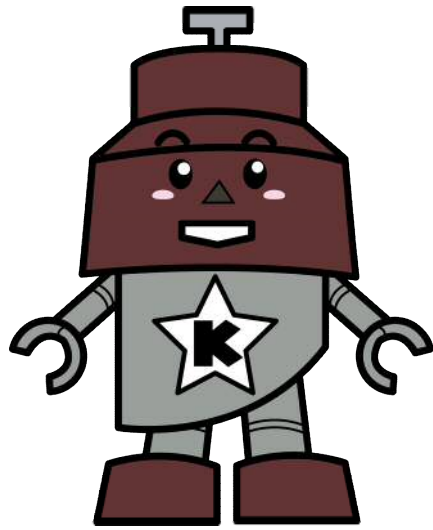
- （１）平成２８年度第３回川口市青少年問題協議会

- ・ 平成２９年２月頃（予定）

- ・ 「平成２７・２８年度川口市青少年問題協議会の報告と提案」の内容について
(確定)

- （２）「平成２７・２８年度川口市青少年問題協議会の報告と提案」提出

- ・ 平成２９年２～３月（予定）



川口市マスコット
「きゅぼらん」